

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2022No.265】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ポール・デュカス

曲名：交響詩《魔法使いの弟子》

演奏：フランソワ＝グザヴィエ・ロト指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54365>

2022年10月23日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

ポール・デュカス 序曲《ポリュクト》

ベラ・バルトーク ヴァイオリン協奏曲第2番 Sz 112

イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)

ジョージ・ロックバーク [カプリース変奏曲] 第50番 幻想曲

イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)

クロード・ドビュッシー カンタータ《選ばれし乙女》

ジュリー・フックス(ソプラノ)

アデル・シャルヴェ(メゾソプラノ)

ベルリン放送合唱団女声

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、スピーカーケーブルの途中と DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。さらに、DMR-UBZ1 の RCA 端子にも自作の仮想アースが使用されています。

今回、試みに仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を

Sonica DAC のアース端子に接続してみました。

交響詩《魔法使いの弟子》は、どこかコミカルで軽快かつ躍動的な曲ですが、仮想アースの効果で色彩感が発揮されていました。

序曲《ポリュークト》は、ロトの明確な指揮の下、ダイナミックな曲の演奏でした。

バルトークのヴァイオリン協奏曲第 2 番は、技巧を要する複雑な動きをする曲で、イザベル・ファウストのヴァイオリンが怪しい雰囲気醸しだしています。

アンコール曲のカプリース変奏曲第 50 番幻想曲は、弱音の微妙な表現の曲です。

カンタータ《選ばれし乙女》は、バッハのカンタータとは随分違った印象の、ソプラノとメゾソプラノの歌唱と女性合唱のドビッシーらしいフランス風のカンタータです。

いずれの曲も仮想アースの適用により、それぞれの曲の表情が鮮やかに表現されています。

以上